



人権ふれあい行事 ～地区行事と人権との 関係について～

「人権ふれあい行事」とは、みなさんの住んでいる地区の行事のことです。それがなぜ、人権ふれあい行事なのかというと、地区の行事を人権という視点から見直して実施してほしい、という願いからです。区長や役員、人権教育担当者の皆さんは「安全で、安心して、気持ち良く暮らす」（人権の視点）ことを願って、行事では様々な配慮をしながら実施しています。この区民一人ひとりに配慮していることが「人権を守る行動」そのものだと思えます。（市報二十五一年一月号掲載）

①ふれあいスポーツ大会 志和利区

十一月四日 約90人参加

人権学習会後の年一回のふれあいスポーツ大会が地区民の最大イベントとなっています。朝の小雨も上がり、総勢90名参加で始まり、競技中は多くの好プレー、珍プレーが見られました。競技後には婦人会や愛育会の皆さんのご協力により、色とりどりのおいしいおにぎりや豚汁をいただきました。



ながら、反省会が行われて無事終了しました。

②市道草刈り 武蔵向陽台区

七月二十二日

朝五時の空には雷雲があり心配しましたが、猛暑の中での作業としては、薄曇りということでコンディションは良かったのではと安堵しています。みなさん大変お疲れ様でした。来年もよろしくお願いします。

向陽台区で二番目にお年をめされた方や一番若いであろう男の子はおいちゃんに抱っこされて参加していました。虫の採集のチャンスだと虫かごを持って参加していた男の子は、すでにミカン虫らしい、白の斑点のある虫をゲットして喜んでいました。今回は、総勢86名の共同作業となりました。



「向陽台も人が増えてきましたね、初めて見る顔が多い」「こんな機会がないと話をする機会はないね。」ある先輩はコデマリの枝をカットする手を動かしながら、隣の人とこのような会話をしていました。

「いじめは絶対にあってはならない。」「いじめは絶対に許すことの出来ない行為だ」という会話が聞こえてまいりました。私が若い頃、朝の集会の時に強く訴えたのを思い出しました。

③八坂社夏祭り 手野区（上・下）

八月四～五日

江戸時代の中頃から地域の氏神として崇められている、八坂神社の夏祭りです。前夜祭、本祭りと2日間行われ、本祭りでは往復3km神輿の行幸も行われます。市内でも珍しい稼働可能な山車も保存されています。伝統の祇園囃子の練習に子ども会も参加しました。



④第2回歴史勉強会開催 内田区

七月二十九日（日）

小・中学生・一般 25人参加
永松郁朗さん、藤本啓二さんを講師に招き、第二回内田区歴史勉強会を開催しました。夏休み中という事で小学生も多く集まりました。



今回は、グリーン様、庚申塔、あねえど（横穴式古墳）蓮華寺仁王像など身近な歴史について勉強をしました。

（文責：武蔵分室 高井）

人権なんでも相談所をご利用ください

「人権擁護委員の日（6月1日）」にちなみ、『人権なんでも相談所（無料相談所）』を開設します。

日時 6月3日（月） 午前10時～午後3時

場所 みんなかん、アストくにさき、武蔵中央公民館、安岐総合支所

内容 高齢者・子ども・女性の人権・同和問題、家庭内や隣近所のもめごと等

主催 杵築人権擁護委員協議会 大分地方法務局杵築支局

【問い合わせ】

杵築人権擁護委員協議会 ☎0978-62-2271 / 国東市人権・同和対策課 ☎0978-72-0354

第6回国東市隣保館祭り「心の川柳」応募作品

こころより有り難う言い義母は逝く 安岐町 友成節子
いなか道見知らぬ人と打ちとけて 武蔵町 田舎住男（ペンネーム）